

科目名	病態学Ⅲ		時期		時間	単位
担当教員	非常勤講師		1年次	後期	30時間	1単位
科目設定理由	患者の看護を適切に行うには、看護援助の知識に加え、その患者の身体にどのような異常が生じているのか、またその異常が患者にどのような苦痛や障害を引き起こしているのかを理解しなければならない。そして、損なわれた生理機能を回復したり、失われた機能を補填するにはどうすればよいかを知り、治療や援助にどうつなげるかを考える根拠を知ることが重要である。そこで、解剖生理学で学習した正常な生理機能の知識を踏まえ、疾患により障害された部位への影響と疾患により発生する症状のメカニズム、検査・診断・治療について学ぶため当該科目を設定した。					
学習目標	疾患により障害された内分泌・代謝系、免疫系、腎・泌尿器系、女性生殖器系への影響と疾患により発生する症状のメカニズム、検査・診断・治療について理解する					
授 業 計 画						
回数	項目	内容				備考
1~3	内分泌系・代謝異常の疾患の病態と診断・治療	1 内分泌系（間脳・下垂体疾患、甲状腺疾患〔甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症〕、副甲状腺〔上皮小体〕疾患、副腎皮質・髄質疾患、腫瘍〔下垂体腫瘍、甲状腺がん〕 2 代謝異常（メタボリックシンドローム、肥満症、糖尿病、脂質異常、高尿酸血症、痛風、ビタミン欠乏症）				講義
4~5	免疫機能疾患の病態と診断・治療	1 自己免疫疾患（SLE、関節リウマチ、シェーグレン症群など） 2 アレルギー性疾患（アナフィラキシーショックなど） 3 免疫低下（敗血症、HIV）				講義
6~9	腎疾患の病態と診断・治療	1 水・電解質の異常（脱水、浮腫、低ナトリウム血症、高カリウム血症） 2 酸塩基平衡の異常（アシドーシス、アルカローシス） 3 腎炎、慢性腎臓病、腎盂腎炎 4 腎不全				講義
10~11	泌尿器疾患の病態と診断・治療	1 膀胱炎、前立腺炎、前立腺肥大症 2 腫瘍（尿管がん、膀胱がん、前立腺がん、腎がん） 3 腎結石、尿路結石、排尿障害過活動膀胱（腹圧性尿失禁、夜尿症）				講義
12	女性生殖器疾患の病態と診断・治療（乳腺）	1 乳腺の疾患（乳腺炎、乳腺症） 2 腫瘍（乳がん）				講義
13~14	女性生殖器疾患の病態と診断・治療（子宮・卵巣疾患）	1 女性生殖器の疾患（子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣のう腫、月経異常、更年期障害、不妊症） 2 腫瘍（子宮体がん、子宮頸がん、卵巣がん）				講義
15	試験					
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[6] 内分泌・代謝			伊波 早苗 他	医学書院	
	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[8] 腎・泌尿器			伊澤 由香 他	医学書院	
	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[9] 女性生殖器			末岡 浩 他	医学書院	
	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[11] (免疫)アレルギー 膠原病 感染症			岩田 健太郎 他	医学書院	
参考図書・資料等						
評価方法	筆記試験					